

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10311401			
科目番号 /Course Number	10360001			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義：Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	京都学講座（人間と社会）：Kyoto study lecture series(human and social studies)			
担当教員名 / Instructor(s)	/(小沢 修司)/他：OZAWA Syuji/etc.			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	第2部「京都の経済」では6回の講義で京都府内の企業や企業・産業の育成を支援する関係機関・団体等からゲストスピーカーを招き、京都の経済が抱える課題、企業や産業の育成に必要な支援等について講義いただく。	
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1240			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	（第 1 部 近代京都と三大学）第 2 回～8 回 皆さんが学ぶ京都の三つの大学が誕生した背景と、それぞれが果たしてきた役割を学び、自分たちが暮らす京都の歴史と現代社会について深く理解する。また、それぞれの大学が京都の産業、経済、医療、教育、福祉にどのように関わり、地域社会を発展させてきたかを学ぶことにより、自分たちがこれからどのように京都の社会に貢献できるかを探る、また自分たちの将来像を見つける手がかりとする。 （第 2 部 京都の経済）第 9 回～15 回 府内の企業をはじめ企業や産業の育成を支援する関係機関・団体等からゲストスピーカーの方を招き、様々な立場から府内の経済・産業の現状や課題、経営環境の変化への対応や地域経済に果たす役割などの講義を受け、京都の経済が抱える課題とともに、企業や産業の育成にはどのような支援が必要であるのか、課題解決の方策を学ぶ。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回 (第 1 部 近代京都と三大学)	ガイダンス (オンデマンド方式)
	英		
2	日	第 2 回	伝統産業の近代化～美術と意匠 (デザイン) の再発見
	英		
3	日	第 3 回	博覧会と産業近代化～岡崎の内国博覧会と京都の産業史
	英		
4	日	第 4 回	京都府の農業近代化～京都府の農業近代化の歴史
	英		
5	日	第 5 回	京都府の酒造業の近代化～京都府の酒造業の近代化と関連産業の発展
	英		
6	日	第 6 回	近代京都と医学～医療、京都府立医大略史、明石博高の時代と近代の福祉事業の誕生
	英		
7	日	第 7 回	近代都市・京都の建設～都市基盤を築いた三大事業、琵琶湖疏水による水資源と電力、そして衛生事業
	英		
8	日	第 8 回	女子教育の歴史～明治初期の女紅場から始まる京都の女子教育の歴史
	英		
9	日	第 9 回 (第 2 部 京都の経済)	企業を支援する関係機関の取組①～京都銀行の概要と京都経済の特徴
	英		
10	日	第 10 回	企業を支援する関係機関の取組②～M & A 支援の取組
	英		
11	日	第 11 回	企業を支援する関係機関の取組③～ 創業・ベンチャー支援、大学における起業と起業マッチ
	英		
12	日	第 12 回	府内企業の取組①～企業理念、経営戦略、人材観等
	英		
13	日	第 13 回	府内企業の取組②～企業理念、経営戦略、人材観等
	英		
14	日	第 14 回	地域の特色ある産業振興の取組
	英		
15	日	第 15 回	講義のふりかえりグループワーク～講義の振り返り、まとめ
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	特になし
英	

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	授業内に配布した資料や紹介した参考文献及び資料について、自身の理解度を確認するように。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	テキストは使用せず、適宜レジュメを Moodle（京都工芸繊維大学提供）にて配布する。参考書については、必要に応じて授業内で紹介します。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	（第 1 部 近代京都と三大学）レポート課題で評価。ただし、レポートの提出資格は第 1 部（全 7 回）のうち 4 回以上の出席を要件とする。 （第 2 部 京都の経済） 授業内に提出するコミュニケーションペーパー（講義内容への感想や意見等）：第 2 部の 50%。 レポート課題（講義内容を踏まえて、テーマを設定。講義最終日には提出したレポートをグループで報告・討論する）：第 2 部の 50% レポート提出資格：第 2 部（全 7 回）のうち 5 回以上出席 第 1 部と第 2 部の評点を加算して最終の評点とする。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	この授業は、オンライン講義により開講することがあります。また、授業の一部をオンデマンド方式で配信します。担当教員やゲストスピーカーの都合により順番が前後し、内容を変更する場合があります。変更の際は別途通知します。 教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位修得に必要な学修時間を確保する計画です。
英	